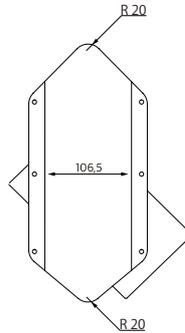
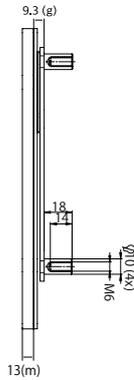
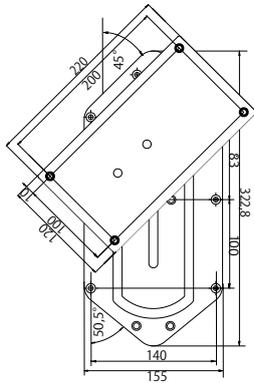


C300 回転テーブル金具 UNDER

C300-U-L

※輸入取寄せ品

本体



フェルトスペーサー

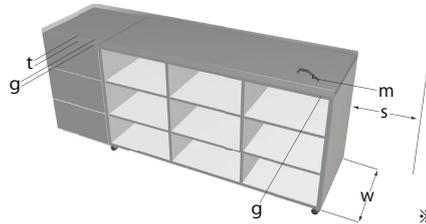
安全上の注意

コーナー接続は動きによって起きる剪断力に耐えるように作る必要があります。

- 90°回転する機構金物です。
 - 限られたスペースにワークデスクを展開できます。
 - 材質／鋼・樹脂
 - 仕上／鋼部ユニクロ・黒焼付塗装
樹脂部・黒
 - 付属品／皿 TAP 5×20 6本
フェルトスペーサー 2ケ
- ※ワッシャーとM6 ネジは付属しません。
板厚に応じてご用意下さい。(各4ケ必要)

仕様寸法

デスクの幅 (W)	480-700mm
取付け時の最少厚さ (t)	18mm
取付け時の加工深さ (m)	13mm
必要な空きスペース (s)	$s = 0.5 \times w$
家具とデスクの間隙 (g)	9.3mm
重量	2300g

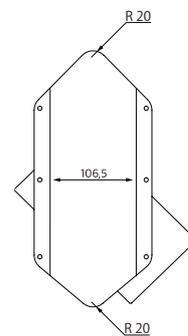
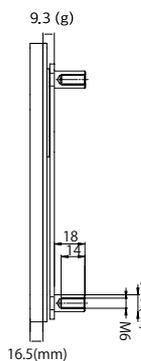
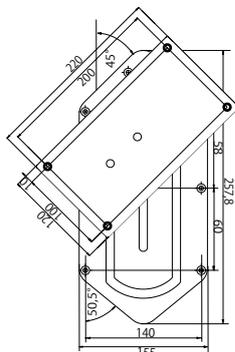
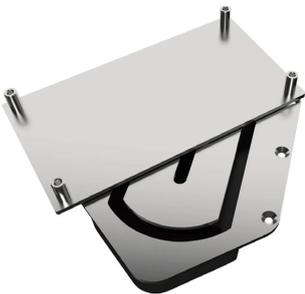


※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

C300-U-S

※輸入取寄せ品

本体



フェルトスペーサー

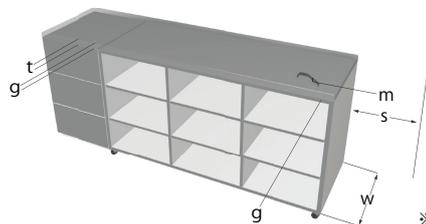
安全上の注意

コーナー接続は動きによって起きる剪断力に耐えるように作る必要があります。

- 90°回転する機構金物です。
 - 限られたスペースにワークデスクを展開できます。
 - 仕上／鋼・樹脂
 - 材質／鋼部ユニクロ・黒焼付塗装
樹脂部・黒
 - 付属品／皿 TAP 5×20 6本
フェルトスペーサー 2ケ
- ※ワッシャーとM6 ネジは付属しません。
板厚に応じてご用意下さい。(各4ケ必要)

仕様寸法

デスクの幅 (W)	360-460mm
取付け時の最少厚さ (t)	18mm
取付け時の加工深さ (m)	13mm
必要な空きスペース (s)	150mm
家具とデスクの間隙 (g)	9.3mm
重量	2200g

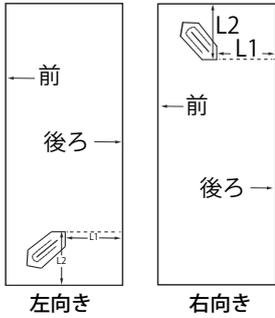


※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

左向き

右向き

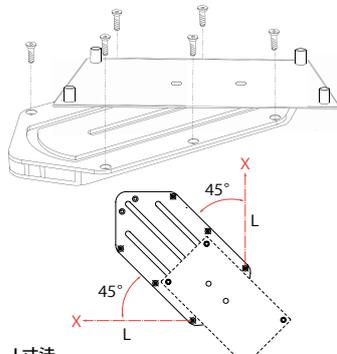




$L1 = 0.5 \times w - 16,25 \text{ mm}$
 $L2 = 0.5 \times w + 16,25 \text{ mm}$

ステップ A - 加工

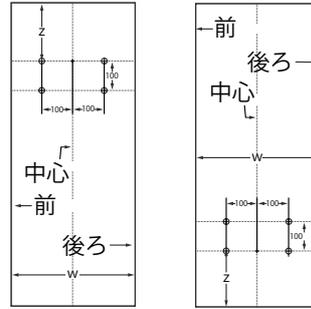
右または左取付けをお選びください。
 上の机を裏返します。
 上部机の表面積が回転部分を超える場合は、次の測定のために回転部分の閉じた位置を上部机の下面にマークします。
 上記の距離 L1 と L2 の計算式に従って、本体の距離と位置を計算します。



L寸法
C300-U-L=220 mm
C300-U-S=150 mm

ステップ B - 金具本体の取付

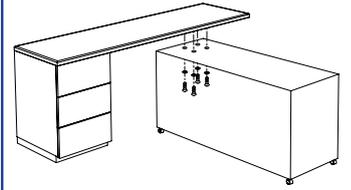
上部デスクまたは天板の下面に $m = 13 \text{ mm}$ の深さ形状を加工します。
 本体を、右用または左用の画像に従って、加工された箇所に取付けます。
 すべてのネジを締めます。
 すべてのネジの頭が完全にねじ込まれていないことを確認してください。ねじ込まれていないと動きが妨げられます。
 すべてのネジ穴にアクセスするには、上部プレートを前後に動かします。
 赤いマーク (X) の位置にフェルトスペーサーを取付けます。



左向き
 $Z = 0.5 \times w - 50 \text{ mm}$
右向き

ステップ C - ネジ穴に取付け

上に示した測定に従って、4本のボルト用に直径 10.5 mm のボルト穴を4つ開けます。
 次のように距離 Z を計算します。

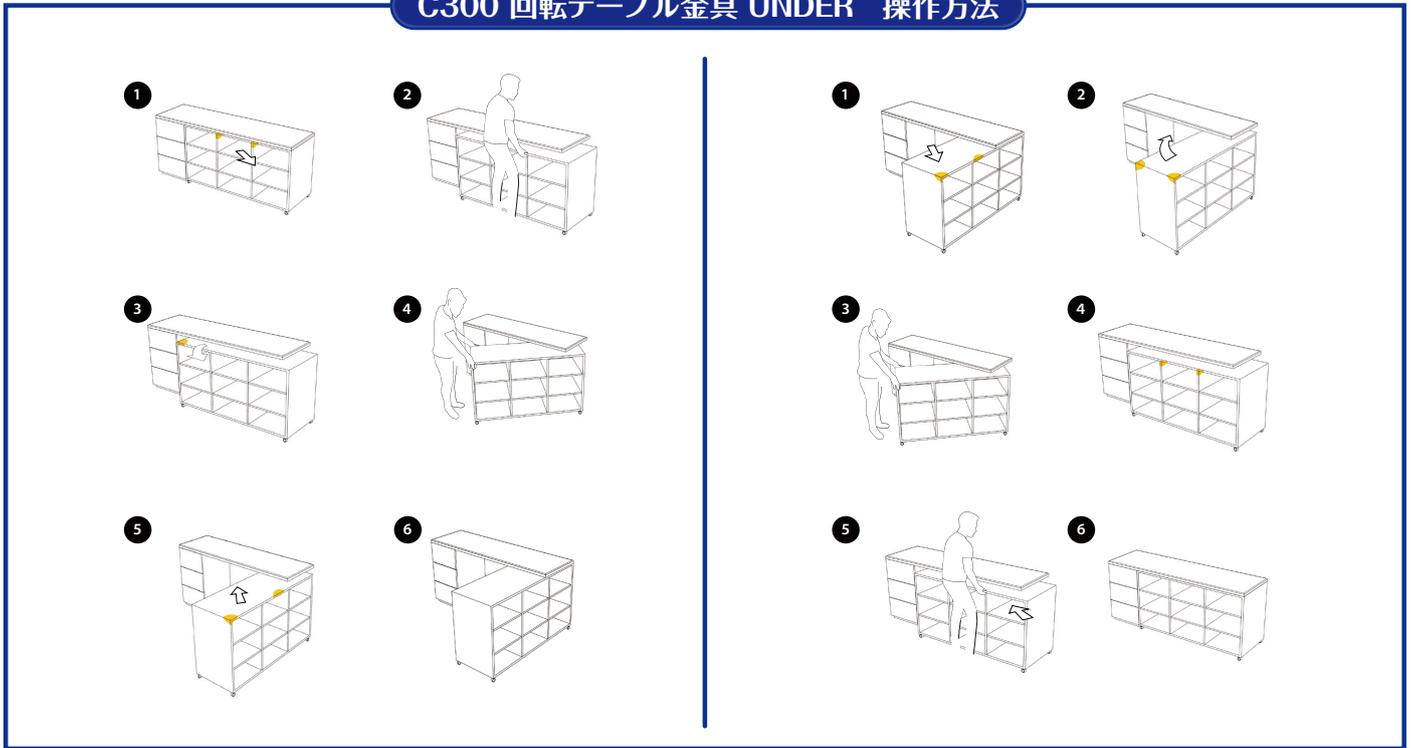


ステップ D - 挿入と固定

家具の下にキャスターまたはグライダーを取付けます (付属していません)。
 家具部分を机の下に持つてくる4つのボルト穴を穴に挿入します。
 ワッシャーを穴にかぶせて、M6 ネジで固定します。4本のネジをすべて固定したら、完成です。

※ワッシャーとM6ネジは付属しません。
 板厚に応じてご用意下さい。(各4ヶ必要)

C300 回転テーブル金具 UNDER 操作方法



取付け使用時において注意事項

可動する家具やデスクの重量、床の素材、床に接する部分に使用される部品の条件によってデスクを動かした際に床に傷や跡が発生する場合があります。

家具は傾斜のない平坦な地面上に設置する必要があります。

上部のテーブルと下部の家具の隙間は、隙間の長さ全体にわたって等しくなければなりません。

回転テーブルとして設計されている場合は、床へのサポート脚でテーブルを支える必要があります。

デスクの天板と床へのサポート脚は機構による動きを考慮して、しっかりと設計・取付ける必要があります。

キャスターを取付ける場合は360° 自在の回転半径を持ち、可動家具部分の重量に応じて選択する必要があります。

機構の動作は操作方法に従って実行する必要があります。

※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

新しいものは、いつもここから



KOJIMA METAL FITTING CORPORATION
<https://www.kojima-mf.co.jp>

本 社

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-4-1
 Tel.03-3843-3141 (代表) Fax.03-3843-3144

春日部営業所

〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東1-26-20
 Tel.048-760-3881 (代表) Fax.048-760-3883

